

項目	第3回（令和6年3月26日）スポーツ推進審議会による委員からの意見
・するスポーツについて	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次スポーツ振興計画の中では、数字にこだわりつつもこだわり過ぎない。 ・生涯スポーツの推進で女性のスポーツ推進や世間一般に言われる弱い立場の方など、そこは力を入れて欲しい。 ・運動なりスポーツをするのをいきなりではなく遊ぶ体験をするようなイベントを最初に持ってきたほうが良い。 ・アンダー6の年代でスポーツをさせる取組があっても良い。 ・保育の一環として鉄棒などのカリキュラムがあると良い。 ・習い事の支援があると、より親としては行かせやすいし、体験もさせやすくなる。 ・スポーツと佐賀市は何を目指してスポーツを利活用するのか、しっかり整理するべき。
・施設について	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次スポーツ推進計画で施設は別枠になっている。別枠にすると、施設をつくるのが目的になる。 ・少し離れた会場までバスとか車で送迎があったら良い。 ・ニュースポーツを地域で行ってもらうにも場所がない。 ・ニュースポーツ用具は何日間で返さないといけないなど、借りづらい。 ・専門の用具の借用がどこに行ったら（言ったら）いいのか分からない。 ・高齢者が毎日一生懸命スポーツをするだけのものではなく、皆と触れ合うための居場所が望まれている。 ・高齢者や子どもみんなが利用できるような会場があったら良い。 ・高齢者になると競技スポーツはなかなか出来ない。この道はウォーキングの道路として整備するなどあえて体育館を建てなくても、安全が確保され、誰もが来て良いスペースとなる。
・みるスポーツについて	<ul style="list-style-type: none"> ・（再掲）第3次スポーツ振興計画の中では、数字にこだわりつつもこだわり過ぎない。 ・バルナーズというコンテンツが佐賀市にあって、スポーツ振興課でどこまで扱うのか。 ・プロスポーツは特定のスポーツの推進に限ることではないのか。全てのスポーツに貢献できるような活動、する・みる・支えるに貢献できるようなお金の使い方をする。
・ささえるスポーツについて	<ul style="list-style-type: none"> ・（再掲）第3次スポーツ振興計画の中では、数字にこだわりつつもこだわり過ぎない。 ・（再掲）生涯スポーツの推進で女性のスポーツ推進や世間一般に言われる弱い立場の方など、そこは力を入れて欲しい。 ・支える側の支援が手厚くなっていけば良い。
・スポーツによる賑わいづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・（再掲）バルナーズというコンテンツが佐賀市にあって、スポーツ振興課でどこまで扱うのか。 ・（再掲）プロスポーツは特定のスポーツの推進に限ることではないのか。全てのスポーツに貢献できるような活動、する・みる・支えるに貢献できるようなお金の使い方をする。 ・（再掲）スポーツと佐賀市は何を目指してスポーツを利活用するのか、しっかり整理するべき。
・他の行政分野と連携	<ul style="list-style-type: none"> ・いろんな部署とマッチング・協力しながら佐賀市のスポーツに目を向けていくなどそういう仕組みがあってもいい。
・eスポーツについて	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツという言葉がいろいろ含み過ぎていて、何を指しているのだろうか。具体的に言うと、スポーツに触れ合う機会の減少で、eスポーツも推奨するのか。健康的な運動をさせるとなると意味合いが違ってくる。ここで言う「運動」だと解釈しているが線引きが曖昧になっている。言葉の使い方は、明確にしっかりしたほうが良い。 ・スポーツのとらえ方を大きくし過ぎると、お金をたくさん使うので、eスポーツは、スポーツなのかと言う議論をする。「日本スポーツ協会が認めるからスポーツ」ではない。